

## 第6回護岸整備懇談会の開催結果概要(案)

開催概要	
日時	平成28年11月22日(火) 17時00分～18時15分
場所	千葉県国際総合水泳場 会議室
参加者数	27名
出席委員	6名 (◎遠藤茂勝、工藤盛徳、石井洋祐、及川七之助、歌代素克、米山芳昭) ◎：座長
結果要旨	
◇報告事項	
<p><b>第5回護岸整備懇談会の開催結果概要</b></p> <p>事務局から資料1により説明後、質疑応答。 [主な意見及び対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	
◇議題	
<p><b>〇2丁目200m区間の工事着手から1年後のモニタリング調査と検証・評価</b></p> <p>事務局から資料2により説明後、質疑応答。 [主な意見及び対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料内に「重要種のウネナシトマヤガイは確認されなかった」と記述してあるが、これは何を意味しているか。 ⇒目標達成基準ではないが、900m区間の検証基準となっていたため、参考として記述している(事務局)</li> <li>・護岸の石が場所によっては、下がっているところがあるがどうか。 ⇒あまりに沈下が大きところは、今後確認していきたい。(事務局)</li> <li>・青潮の発生状況が従来と違う状態での発生が多く見られている。 そのことを考えると、生物が残っていたほうだと感じる。</li> <li>・平成23年の夏から25年の春まで、生物の出現種数が多い気がするが、何か環境の変化はあったのか。 ⇒特段の環境の変化はない。(事務局)</li> <li>・塩浜1丁目側の護岸の前面に、過去に砂を入れたが、生物調査は実施しているのか。 ⇒塩浜1丁目側の測線1工区で調査を実施しており、生物も出現している。(事務局)</li> </ul>	
◇その他	
<p><b>〇行徳湿地暗渠管</b></p> <p>事務局から資料3により説明後、質疑応答。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行徳湿地内の暗渠管はどうなるのか。 ⇒海岸事業では、護岸を作るために影響する部分について、機能補償を行う。 暗渠管内部については、施設管理者と調整する。(事務局)</li> <li>・現状の暗渠管には、ゴミが多く入っているが、どのようにメンテナンスするのか。 ⇒マンホールを設置し、中に人が入れる構造にすることを検討している。(事務局)</li> <li>・三番瀬ミーティングでは、今後護岸の砂付けは行わないとされた。浚渫土砂を深掘れ箇所に入れることも良いが、砂付けも検討していただきたい。</li> </ul>	